

地域支える人材育成を

八戸

八戸学院大学（小林眞学長）と同大学短期大学部（杉山幸子学長）は5日、八戸東高校（矢部広明校長）と教育の充実や相互交流などの推進に向けた高大連携協定を結んだ。高校生の資質・能力の向上につながる取り組みや、教職員同士の情報交換、高校生と大学生の交流などを進め、地域を支える人材の育成に力を入れる。

同大学・短期大学部が県立高校と協定を結ぶのは3校目。八戸東高にとっては高等教育機関との協定締結は初めてとなる。八戸市の同大で行われた締結式で、小林、杉山両学長、矢部校長が協定書にそれぞれ署名した。

八戸東高ではこれまで、総合的な探究学習

八学大・短大部、八東と高大連携協定



高大連携協定を締結した(右から)矢部校長、小林学長、杉山学長

「あおもり創造学」で八学大の教員を招き、生徒への助言や発表の講評を依頼してきたという。矢部校長は「協定締結でより充実した探究活動の展開が可能となり、生徒の資質向上につながると確信している」と期待。小林学長は「大学教員の力を高校生の皆さんの支援にしっかり生かしていく。締結内容を具体化し、成果を出していきたい」と述べた。

（千葉真由美）